

(別紙5)

整理番号 2020P-118
補助事業名 2020年度 子どもとその親が幸せに暮らせる社会を創る補助事業
補助事業者名 特定非営利活動法人チャイルドライン支援センター

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

チャイルドラインは18歳以下の子どものための電話相談として、1998年より活動を始め、現在はフリーダイヤルで年間20万件の電話を受けている。

いじめや友人との人間関係、不安や心の状態に関する悩み、さみしさから話し相手を求めるものなど、内容は多岐にわたり、深刻な電話も数多くある。

チャイルドラインは基本姿勢として、大人が問題解決を主導するのではなく、子どもの気持ちを受けとめ寄り添うことを重視し、子ども自身による気持ちの解消や立ち直りをサポートしている。安心して自分の気持ちを打ち明けることができる「こころの居場所」を提供していきたいと考えている。

(2) 実施内容

①子どもが生きやすい社会をつくるための広報・社会発信事業

●2020チャイルドライン年次報告の作成

2019年度の電話およびチャット事業で寄せられた子どもの声のデータや、活動から見える子どもたちの状況と社会課題、チャイルドライン活動の現状や課題などを広く社会に伝えるための資料として制作した。8月31日に発行し、活動への理解を広げるため、支援者やマスメディア、児童相談所等の関係機関などに配布した。

団体ウェブサイトへも掲載し、一般の方も閲覧・ダウンロードできるようになっている。

<https://childline.or.jp/supporter/report>

<http://www.voluntary.jp/weblog/myblog/1252>

【配布先の相談機関】

教育委員会(都道府県、政令市)	76 箇所	精神保健福祉センター	69 箇所
児童相談所	228 箇所	消費生活センター	47 箇所
地方事務局(人権擁護課)	50 箇所	弁護士会	54 箇所
都道府県警(少年相談担当課)	52 箇所	いのちの電話	53 箇所

11月20日チャイルドライン支援議員連盟と協働で国会議員や関係省庁の担当者に向けて子どもの状況報告として、チャイルドライン年次報告を中心にチャイルドラインがとら

(別紙5)

えている子どもの現在の状況について報告をした。また、新型コロナウイルス感染症流行が子どもに及ぼす影響についても言及した報告も実施した。

●学校以外の場所での子ども広報

全国こども食堂支援センターむすびえの協力を得て、全国各地のこども食堂にチャイルドライン周知カードとポスターを配布した。また、むすびえのHPにニュースとして掲載された。

②子どもが利用しやすい相談環境の整備・強化事業

●受け手の傾聴のスキルアップに向けてのエリア会議・エリア研修などの実施

受け手ボランティアが安心・安全に相談を受けられる体制の中でさらに対応の質を向上させていく必要がある。そのために2019年度強化した「受け手」をサポートする「支え手」のスーパーバイズ機能を有効活用し個々の受け手の傾聴のスキルの向上を図るためのエリア会議の実施、研修会を開催した。

<http://www.voluntary.jp/weblog/myblog/1252>

2 予想される事業実施効果

①子どもが生きやすい社会づくりのための広報・提言事業

子どもが生きやすい社会の実現のため、年間約20万件のチャイルドラインのデータや現場から見える子どもの状況と社会課題、大人が取り組むべき対策を年次レポートにまとめ、関係機関等に向けて配布するほか、ウェブサイトなども通じて広く一般の方に提供する。そうした社会発信を行うことは、子どもの周囲にいる大人が、傾聴の大切さや実践方法を知ることになり、子どもに適切に関われるよう、また、子どものSOSのサインを意識するようになるような意識変革につながる。

また、全国こども食堂支援センターむすびえの協力を得て、全国各地のこども食堂にチャイルドライン周知カードとポスターを配布したことで、子どもにとっても、日常的に様々な場で目に触れる存在となり、より相談へのハードルを低下させることができると考えている。

②子どもが利用しやすい相談環境の整備・強化事業

支え手のスーパーバイズ機能の向上は受け手の質の向上につなげることができる。さらには受け手ボランティアが子どもの発するSOSを適切に把握し対応できる環境を整備し

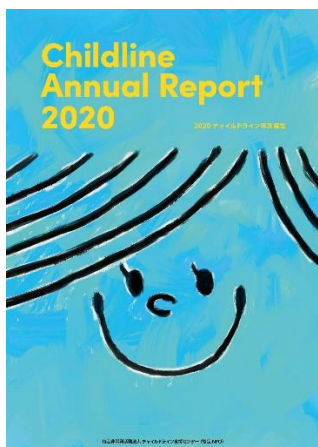
(別紙5)

ていくことが、様々な状況の社会に置かれた、多様化していく子どもの声をより受け止めていくことになる。

3 補助事業に係わる成果物

(1) 補助事業により作成したもの

2020チャイルドライン年次報告



(2) (1) 以外で当事業において作成したもの 該当なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 認定特定非営利活動法人チャイルドライン支援センター
(ニンテイトクテイヒエイリカツドウホウジンチャイルドラインシエンセンター)

住 所： 〒162-0808
東京都新宿区天神町14 神楽坂藤井ビル5階

代 表 者： 代表理事 小林 純子 (ダイヒョウリジ コバヤシ ジュンコ)

担 当 部 署： 事務局 (ジムキョク)

担 当 者 名： 事務局員 寺地 理奈 (ジムキョクイン テラチ リナ)

電 話 番 号： 03-5946-8500

F A X： 03-5946-8501

E - m a i l： info@childline.or.jp

U R L： <https://childline.or.jp/>